

おおま 議会だより

令和6年2月1日発行 No.120



主な内容 12月定例会

- P2 第4回定例会
- P3 一般質問
- P4 全員協議会・特別委員会
- P5～P6 議会のできごと

【発行】青森県大間町議会 【編集】議会広報編集委員会
〒039-4692 青森県下北郡大間町大字大間字奥戸下道 20-4 電話 0175-37-3029

令和5年第4回定例会を12月8日に開会し、12月13日に閉会しました。本議会に提案された承認1件、議案12件はすべて原案のとおり承認、可決しました。

令和5年度 補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ、753万円を追加し、歳入歳出予算の総額を62億2,448万円とした。

歳入の主なるもの

国庫支出金

○国庫補助金で社会保障・税番号制度システム整備費補助金448万円、社会資本整備総合交付金100万円をそれぞれ計上。

歳出の主なるもの

総務費

○財産管理費で財政調整基金積立金4,000万円を減額。
○企画費で地域公共交通確保維持改善事業費補助金179万円計上。
○賦課徴収費で個人住

民税システム改修業務委託料385万円計上。

○戸籍住民基本台帳費で戸籍の附票システム改修（読み仮名対応）業務委託料162万円、住民記録システム改修（氏名の振り仮名法制化対応）業務委託料286万円をそれぞれ計上。

民生費

○社会福祉総務費で健康福祉センターに係る光熱水費404万円計上。
○児童措置費で保育所広域入所委託料256万円、低所得子育て世帯生活支援特別給付金返還金283万円をそれぞれ計上。

土木費

○下水道整備費で下水道事業特別会計繰入金258万円計上。

消防費

○常備消防費で下北地域広域行政事務組合負担金369万円計上。

教育費

○小学校費の教育振興費で教科書改訂に伴う消耗品費1,323万円計上。

予備費

○財政調整いたしまし470万円減額。

大間町の施設に係る指定管理者の指定

※大間町立うみの子保育園及び大間町地域子育て支援センターを社会福祉法人恵愛福祉会に令和6年4月1日より5年間、指定管理者として指定。

専決処分

※大間町健康福祉センターを社会福祉法人大間町社会福祉協議会に令和6年4月1日より5年間、指定管理者として指定。

条例の一部改正

○議員の期末手当について支給割合を改定するため、議会の議員の議員報酬及び費用弁償

等に関する条例。

○特別職員の期末手当の支給割合を改定するため、大間町特別職員の給与に関する条例。

○青森県人事委員会の勧告を踏まえ、一般職員の給料月額及び期末、勤勉手当の支給割合等を改定するため、大間町職員の給与に関する条例。

○健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、大間町国民健康保険税条例。

○下水道事業が令和6年4月1日より地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴い、大間町特別会計条例等。





堀 祐介 議員

質問時間 60分

学校教育施設の修繕について
 学校施設で修繕されな
 いまま数年経っていると
 ころがある。修繕計画が
 あるのか。

町長答弁

施設等についての整備
 計画は特にないが、財政
 担当課と協議のうえ、計
 画的に大規模改修を検討
 したい。

再質問

奥戸中学校の使えるも
 の再利用する事は？

教育課長答弁

旧奥戸中学校にありま
 す機器等については、大
 間中で機器等の修理が必
 要なものが出てくれば、
 最初に奥戸中にあるもの
 が使えるのか検討して、
 駄目な場合は、修理もし
 くは更新といった形を
 取っている。

幼稚園の閉園について

令和6年度まで幼稚園の閉
 園が決定したが、詳細な
 経緯とこのスケジュール
 になった理由は。

町長答弁

令和6年度末に閉園の
 経緯について、今年度の
 入園者が1名であったこ
 とや、令和6年度からの
 うみの子保育園指定管理
 者の目処が立ち、幼稚園
 教育の受け皿となるうみ
 の子保育園の認定こども
 園移行が、令和7年4月
 より可能であると見通し
 がたつたため、幼稚園に
 つきましては、令和7年
 3月の閉園が望ましいと
 考え、関係する方々への
 説明会等を重ね理解の促
 進を図り、閉園に向け事
 務を進めている。

教育委員会による幼稚園
 の保護者への説明会や関
 係課による未就学児童養
 育世帯を対象とした説明
 会実施

この説明会の際に、幼
 稚園の存続を希望する旨
 の意見があったこと、ま
 た、令和6年度末の閉園
 につきまして、説明が行
 き届いておらず十分なこ

理解を得られない状況で
 あることを受け止め、現
 在入園中の保護者の方々
 が納得したうえで、幼稚
 園を閉園し認定こども園
 への移行を進めたい

再質問

9月の一般質問から、
 急に閉園の計画が加速し
 ているように感じるが？

町長答弁

幼稚園の閉園は、平成
 30年に議員全員協議会か
 らその後、令和3年12月
 議会で認定こども園開始
 時期の見直しそれは、あ
 まりにも説明がきちんと
 なされてない。もつと時
 間を空けたらいいじゃん
 いかってということで空け
 ました。

令和4年度の幼稚園の
 入園の募集を行った際に、
 一人だけきたという経緯
 がありその時に、幼稚園
 閉園の文書を書かなかつ
 たということが、一番の
 ミスだったと私は思っ
 ています。

再質問

閉園の仕方、長い歴史
 のある幼稚園を皆が納得
 して最後を迎えたい。

今の状況では、わだか
 まりを残して終わる。町
 の歴史の中でもよくない
 ことだと私は思う。それ
 は、年少の子一人がこど
 も園に移行し、幼稚園を

卒園できない。全員協議
 会で、保護者に誠心誠意
 说得しますと言っていた
 が？

教育課長答弁

説明の中で、まず気持
 ちを確認した。

こういう経緯になった
 ことが説明もありません
 ぐ閉園を決定したという
 ことに関して、話が違う。

再質問

子どもが、幼稚園が好
 きなので、このまま幼稚
 園で卒業させたい。

再質問

何故、保護者が反対す
 るかっていうのは、説明
 がなかった。

それが、先程町長がミ
 スとミスをしたが、説明
 がないまま決まったこと
 というのは、教育的にど
 うなのかと私は思う。

行政側は、入園希望時
 に保護者に認定こども園
 の移行の説明は？

教育課長答弁

入園の募集の際には、
 認定こども園の移行の説
 明はしてない

再質問

平行線のまま進んだ場
 合はどうするのか？

町長答弁

まずは、一人いる保護
 者に、誠心誠意理解して
 もらうことが大事。

教育委員会でも说得で
 きないものは、私も行っ

て、積極的に保護者の方
 に理解を求める。

令和7年の4月からは、
 認定こども園がはじまる。
 それに合わせて閉園は、
 基本の考えです。

それを進めてく。

再質問

10月31日の説明会で、
 冒頭の町長挨拶で、幼稚
 園の卒園を望むなら、そ
 ういう考えもあるという
 ことを聞いたが？

町長答弁

説明会では、私は理解
 を求めても駄目な場合強
 制的に閉園は難しいと
 言った。

再質問

答弁にずれがあるが、
 幼稚園の閉園について
 も全員協議会で理解して
 もらっている。

再質問

議員の皆様が納得でき
 なかった場合は協議した
 い。

認定こども園について
 令和7年4月に閉園予定
 だが、具体的な計画・方
 針が決まっているのか。

町長答弁

未就学児童世帯に対し
 て説明会を開催。

町長答弁

その説明会で、認定こ
 ども園の具体的な教育標
 準時間の過ごし方はどの
 ような計画になっている
 のか質問を受けて、今後、

幼稚園、教育課と連携し
 住民福祉課が作成する旨
 回答。

住民福祉課では、現在、
 幼稚園やうみの子保育園
 からの資料、また、視察
 に行った認定こども園の
 資料を参考に計画を策定
 に着手しており、今年度
 中には、具体的な計画等
 を策定し令和6年度には、
 うみの子保育園の指定管
 理者と連携し、認定こど
 も園を移行に向け進めて
 いく。

再質問

1年とちよつとで、開
 園は、指定管理の期間が
 スタートして、同時進行
 で、こども園の準備、一
 番職員の方々に、負担か
 かると思うが？

町長答弁

恵愛福祉会が、1年で
 やりますと令和7年4月
 から認定こども園に移行
 するにあたって、今いる
 職員が、うみの子保育園
 にいる職員にお願いする
 ことは、恵愛福祉会から
 聞いています。

再質問

大丈夫と聞いています。
 ただ、認定こども園に
 なった場合は、職員が増
 えるので、担当課と一緒
 に協議していく。

特別委員会

〔令和5年12月8日〕

〔大間原子力発電所対策特別委員会〕

1. 新規制基準適合性審査の対応状況について

電源開発(株)の藤田本部長が、挨拶の中で工事再開の時期を、先に報告してある2024年度後半に向けて全力で取組む決意が示されました。又、国の新規制基準適合審査会での第60回の会合では敷地の地質構造シームS-11の評価の説明では規制委員会より一定の理解が得られ、明るい兆しも見えてきております。現在、審査会は第61回を終えています。電源開発(株)に於いては、これまで以上の努力をし、工事再開時期の延長をしないよう望むものであります。

2. 大間原子力発電所建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について
 (一)、函館市住民の訴訟について

・2010年7月に第一回訴訟が始まってから約13年ほど経過しておりますが、現在は9月に第10回口頭弁論を終え、今後は、2024年3月に第11回目、7月には第12回目の口頭弁論が予定されています。
 (二)、函館市の訴訟について
 2014年4月に第一回訴訟が始まってから、2023年の9月に第30回口頭弁論を終えており、今後は、2024年2月に第31回目、9月に第32回目の予定となっております。

全員協議会

〔令和5年11月17日〕

案件

一 青森県物価高騰緊急対策市町村交付金を活用する事業について

①大間町物価高騰緊急対策漁業者等支援事業
 ・対象者は、漁船を所有している漁業者及び畜産業を営んでいる者
 ②大間町物価高騰緊急対策町内事業者支援事業
 ・対象者は、令和3年度経済センサス活動調査の事業所とする。
 ※以上2件について町民、及び担当から説明がありました。賛成意見も、物価高騰対策は全町民に係ることなどの意見があり、賛否を取ったところ、全町民を対象とすることに多数の委員が賛成のことから、一世帯1万5千円程度支給すること

に決定されました。支給時期は、正月に間に合うように支給することと決定した。

二 大間町コミュニティバス(買い物物支援)の実施運行について

(目的)
 買い物支援の実証運行を実施し、町民の日常生活に必要な交通手段の検証をするためを目的とする。
 ・運行区域は大間町全域とする。乗車料金は無料とする。その他運行開始時期等は広報等でお知らせする。

三 大間町繁殖育成センターの運営について

・大間町繁殖育成センターの運営形態について、長い間協議を続けておりますが、最善策が見つからず、今後は、当分間、現状の委託方式で行なう事とし、今後も継続して検討していくこととした。

四 大間町消防署庁舎建設工事の変更契約について

・大間消防署庁舎建設工事に於いて昨今の物価高騰、資機材の値上がりがあり、庁舎建設費及び造成・外構工事に不足が生じたため、変更契約するものであり、庁舎及び外構工事等あわせて811万5,525円としました。

〔令和5年12月13日〕

案件

一 物価高騰対策支援創生臨時交付金を活用する事業について

(目的)
 ・物価高騰の影響を受けている町民を支援するため、地域振興商品券を配布し生活支援を講じ生活の安定を図る、

(概要)

- ・基準日〓令和6年1月1日
- ・配布数〓1世帯1万円とし、専用券7千円、共通券3千円とする。
- ・郵送予定〓令和6年1月末日
- ・利用期間〓令和6年2月1日〓3月8日まで



大間中学校生徒による「子ども議会」開催

令和5年12月19日（火）、大間中学校3年生による子ども議会が大間町議会議場において開催されました。各議員がそれぞれの班の代表となり、大間らしい産業の育成強化や魅力発信、子育て支援や健康づくりなどの質問や提案を行い、それに対して大間町長が答弁しました。

子どもならではの提案や現実が必要と思われる意見や質問があり、大間町の担い手として頼もしく感じました。これからも思いをもって頑張ってもらいたいです。



- 議長・議員の紹介
- 【3年A組】
- 議長 伊藤 紫音 議員
 - 1番 山崎 匡史 議員
 - 2番 手塚 健瑠 議員
 - 3番 山本 愛果 議員
 - 4番 七島 開成 議員
- 【3年B組】
- 議長 御厩敷葵生 議員
 - 5番 佐藤 香月 議員
 - 6番 斉藤 慶太 議員
 - 7番 宮野ひまり 議員
 - 8番 小島 翼 議員



議会のうごき 令和5年10月～令和6年1月

10月

- 10月26日 正副議長・事務局長研修会（青森市・正副議長及び各常任委員長並びに事務局長）
- 27日 例月出納検査（議会選出監査委員）
- 28日 大間町音楽祭
- 31日～11月1日 下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会（青森市・議員及び事務局）

11月

- 11月3日 大間中学校文化祭
- 6日～7日 知事と圏域市町村長との意見交換会（青森市・議長及び事務局長）
- 9日～10日 エネルギー政策促進フォーラム2023in下北（むつ市・議長）
- 10日 交通事故ゼロ表彰状授与式（議長）
- 11日 大間小学校150周年記念式典・祝賀会
- 12日～14日 全国過疎地域連盟総会（東京都・議長）
- 15日 知事を囲む行政懇談会（青森市・議長及び事務局長）
- 17日 下北地域県民局長他来庁懇談（議長）
議会議員全員協議会
- 19日～20日 フェリー県知事要望（青森市・議長及び事務局長）
大間原発三ヶ町村協議会県知事要望（青森市・議長及び事務局長）
- 21日～23日 全国原子力発電所所在市町村協議会全体会議（東京都・議長及び事務局長）
- 27日 例月出納検査（議会選出監査委員）
- 28日～30日 青森県選出国議員との懇談会及び第67回町村議会議長全国大会（東京都・議長及び事務局長）

12月

- 12月2日 津島雄二お別れの会（青森市・議長）
- 3日 第38回大間町少年柔道大会
- 7日 議会運営委員会
- 8日 第4回大間町議会定例会開会
大間原子力発電所対策特別委員会
- 11日 総務教育常任委員会及び産業民生常任委員会
- 12日 一般質問・議案審議
議会広報編集委員会
- 13日 議案審議
第4回大間町議会定例会閉会
議会議員全員協議会
- 16日～17日 泉博之大湊地方総監を囲む会（むつ市・議長）
- 19日 大間中学校子ども議会（議長）

令和6年1月

- 1月7日 大間町消防団出初式
- 12日 電源開発(株)社長年始挨拶来庁
議会広報編集委員会
- 14日 大間町少年剣道大会
- 16日 下北郡事務局長会議（佐井村・事務局長）
- 17日 大間町スポーツ協会50周年記念式典
- 18日 新年祝賀会
- 19日～20日 むつ下北・市町村長議会議長との新年の集い（むつ市・議長）
- 22日 議会議員全員協議会
- 23日 むつ市「ウェルネスパーク」視察研修（むつ市・議員及び事務局）

下北郡町村議会議員及び 事務局職員合同研修会

下北郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会が下北郡町村議会議長会（会長竹内修（佐井村議長））主催により、10月31日青森市アップルパレス青森において開催されました。当町議会からは、石戸議長をはじめ全議員、事務局の出席となりました。

研修会では、講師に青森県農林水産部水産局水産振興課から企画・普及グループ田中GM及び栽培・資源グループ清藤GMをお招きして「青森県の水産業について」の演題のもと、基調講演を伺うことができました。講演概要は、青森県の漁業振興に関して、1. 漁業の現状「(1)県内の漁獲状況は減少傾向で漁獲数量は、2020

会し、情報交換と交流を深めると共に相互の理解と連携強化を図り地域議会活動の向上に寄与できる機会となりました。



電源開発(株)菅野社長来町

1月12日（金）電源開発株式会社 菅野等代表取締役社長が新年挨拶のため大間町を訪問いたしました。



編集後記

今年の干支「辰年」は、陽の気が動いて万物が振動することから、活力旺盛になり大きく成長し形が整い、さらには「龍」は十二支のなかで唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴あることから、出世や権力に大きく関わる年であるともいわれているようです。

さて、議会だよりは、年4回発行し毎戸配布させていただき、ホームページにも掲載しており、議会活動を広く町民の皆さまにお知らせしております。

今後も町民と議会の懸け橋となる議会だよりとして、内容の充実を図り、議会活動を身近に感じていただくよう努めてまいります。

町民の皆さまにおかれましては、新しい年を迎え『龍』のごとく、飛躍の一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

記【山崎】

議会広報編集委員

委員長 堺 祐介
副委員長 傳 厚史
委員 傳 正広
吉 田 安男
山 崎 一利
佐々木 信彦